

矢部清流学園
学校だより 10号



善遊善学

学校教育目標 あるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成

令和6年12月24日 文責 古川 志乃

Have nice winter holidays! 良いお年を...

早いもので、もう師走。あと一週間で新年（2025年/令和7年）を迎えます。今年はどうな年でしたか？ 来年はどうな年にしたいですか？ 一年の節目の時、一年を振り返り、それぞれに思いをはせる冬休みであってほしいと思います。

2024年、今年の漢字は「金」が選ばれました。パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートが数多く金メダルを獲得したことや、大谷選手が値千「金」の活躍だったこと、新札のお金が発行されたこと、政治家の裏金問題や、金目当ての闇バイト強盗事件・・・と理由は様々ですが、矢部清流学園の子ども達にとっても、地域の方々に「元気」「活力」を与える取組がたくさん実施できたことはまさに「金」☆☆☆の2024年だったのではないのでしょうか。

これからも、子どもが主体的に取り組む活動を推進していきますので、どうぞ、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



「学習発表会」

12月8日（日） 木籠にて

12月8日（日）「学習発表会」として、各学年からの発表や授業で制作した作品等の展示を行いました。司会進行は7年 さんが行い、清流会会長さんも堂々と挨拶をしました。本年度は、矢部地区青少年育成会の支援事業としての開催で、保護者のみならず、矢部のみなさんをお招きして子ども達の学習成果をたくさんの方々に観に来ていただきました。青少年育成会の理事、事務局の方々は、前日準備や受付等、手伝っていただきありがとうございました。

【発表内容】

- 人権作文発表 9年 さん
- 英語スピーチ 7年 さん
- 八女市平和学習事業参加報告 8年 さん
- 矢部 PR 活動 9年全員
- ゆいのもり訪問報告 7・8年全員
- 八女津媛伝説「白馬の媛」演劇披露 前期課程児童全員



同日、岩戸山歴史文化交流館 いわいの郷で「矢部マルシェ in 岩戸山」が開催され、その会場で、9年生は約半年間総合的な学習の時間で取り組んできたこと（矢部の方に話を聞いたり、アンケート調査したり）をもとに、「矢部 PR 活動」を行いました。質問にも臨機応変に答え、矢部の魅力を存分に伝えることができました！



【参加者の感想より】・内容や表現が毎年工夫してあって、矢部村内外ももっとたくさんの人に観てもらえたらいいのになと思いました。住んでいるところの伝説を朗読劇として30年以上にわたり伝承していることはすばらしく、今後も続けてほしいと思います。行事が体育祭、浮立、白馬の媛と続くので、指導も大変ですが、来年も楽しみにしています。一人一人が大きく成長していることを嬉しく思います。くんは、7年生とは思えない程、みんなのことをよく考えていることに感心しました。くんの英語スピーチは身振り手振りを加えながらアピールする姿に感心しました。白馬の媛では、少ない人数でも大きな演技ができ、涙が出ました。これも先生方や友達とのつながりの中で芽生えた人の心の結いです。





スマイルフェスタ八女 2024

12月7日(土)



1948年12月10日、国連総会において、全ての人の「自由」と「尊厳」を「平等」に守るため、『世界人権宣言』が採択されました。これにちなみ、日本では12月4日～10日の一週間を人権週間とし、人権の大切さを呼びかけています。八女市でも人権に関わる行事「スマイルフェスタ八女2024」が開催され、12月7日(土)に、バザー、人権作文発表【本校9年 さんが発表】、石原良純氏による講演会がおりなす八女で実施されました。学校でも前期課程児童は、人権バッジを作成し、それぞれが大切にしたいことを胸に掲げ、意識して生活していました。差別のない世の中にしていくために、よりよい社会を形成していくために、「人権」について知り、考え、人権感覚を養うことが大切です。

前期課程 持久走記録会 12月17日(月)

本年度の重点目標「鍛えよう！ほめよう！」を達成すべく、11月～12月、体育の授業で全学年持久走に取り組んできました。後期課程生徒については、先月の学校通信でも報告したように、八女地区駅伝大会に挑みました。そして、前期課程児童も、校内での記録会に挑み、それぞれに自己ベストを目指して一生懸命頑張りました。



1年生 ゆり組さんとの交流 12月17日(火)

大牟田緑地公園への校外学習で拾ってきた木の実や、校庭や家の周りから集めてきた落ち葉を使っておもちゃやゲームを作り、矢部保育園ゆり組さんの園児と交流活動を行いました。初めのうちは、恥ずかしそうにしていた園児も、1年生が工夫して作ったゲームやおもちゃにどんどん夢中になっていました。交流タイトル「あきランドへようこそ！」の文字通り、秋をたっぷり楽しめる木の実や葉っぱのゲーム・おもちゃがあふれていて、1年生の教室はまるで遊園地のような様子でした。ゆり組さんの園児の前では、1年生もしっかりしたお兄ちゃん、お姉ちゃん！話しかける姿、手を引いてお見送りをする姿は、本当に頼もしかったです。

19日(木)の昼休みには、上級生や先生たちも招き、同様の交流活動を行ってくださったのですが、招待する際の発表の仕方、ゲーム等の遊び方を説明する姿に、1年生の無限大のパワーを感じることができました。ブラボー！！素敵な時間をありがとうございました！



8年 修学旅行 12月10日(火)～13日(金)

12月10日(火)～13日(金)



8年生は、12月10日(火)～13日(金)、吉野、京都に修学旅行に行きました。吉野金峯山寺では、田中住職さんから、八女市と吉野町のつながりについて話を聞き、また、6:30から行われる朝の勤行に全員で参加し、早朝の冷たく澄み切った空気が張り詰める蔵王堂で心が洗われました。さらには、葛屋中井春風堂で、吉野の名産でもある葛についての話を聞き、葛切り体験を行いました。吉野さくら学園では、中学2年生33名と交流を行い、互いの町・村・学校の紹介やレクリエーション、さらには「郷土愛」を考える道徳の授業を一緒に行って、考えを深めあう貴重な時間を過ごすことができました。昨年交流を行った9年生からのメッセージカードを吉野さくら学園3年生に届け、遠く離れてはいるけれども、「お互い受験を頑張ろう！」と気持ちを交し合うことができました。

吉野町と八女市の歴史・文化交流の一旦を担ったこの交流のために、八女市の助成金をいただいています。充実した交流事業になるようにと、吉野町教育委員会の方々にもたくさんの協力をいただいております。深く感謝申し上げます。

京都では、計画していた場所(伏見稲荷神社、金閣寺、龍安寺、太秦映画村など)に悪戦苦闘しながらも二人で協力し、地下鉄や電車、バスを乗り継ぎ訪問していました。

12日(木)の夕食後、修学旅行の思い出を俳句にする歌会を楽しみました。

- 「初京都 紅色もみじ 龍安寺」 さん
- 「冬もみじ きらきらしてる 金閣寺」 さん
- 「クリスマス 光が躍る 京都駅」伊藤先生
- 「冬空に 一人寂しく 二人待つ」福田先生
- 「古都の秋 ピアノ音を背に 一句詠む」校長先生



9年 保育園実習 12月12日(木)

お茶の淹れ方教室・挽き臼体験 12月11日(木)

JA 青年部や星野茶の文化館の方々をGTにお招きし、9年生は、12月11日(水)、お茶の淹れ方教室、挽き臼体験を行いました。GTの方々のアドバイスを受けながら、淹れた一杯一杯のお茶をしみじみと味わっていました。お茶には、風邪予防、記憶力アップ、リラックス効果があることも再確認していたので、きっと受験勉強の合間に、自分たちでお茶を淹れることでしょう。



12月12日(木)、家庭科の授業(保育)で矢部保育園での保育実習を行いました。事前に作成したお手玉や絵合わせカードを持参して、一緒に遊びました。また、「鬼ごっこしよう！」と誘ってくる幼児たちと一緒に、視線を同じにして遊ぶ生徒の様子に参観した教員も大変感心していました。